

# ドライアイスの 教科書

冷たいのは知ってるけれど  
『ドライアイス』の特徴を  
解説！

【ドライアイスによる事故編】



株式会社ドライアイスサービス

千葉市若葉区殿台町595-1

TEL : 043-255-5640

<https://www.dryice-service.co.jp/>



# ドライアイスによる事故

## 1.凍傷

ドライアイスは $-78.5^{\circ}\text{C}$ ととても冷たく、皮膚にくっつくと凍傷を引き起こします。もし凍傷をおこした場合は患部をぬるま湯につけて、ゆっくり温めてください。水ぶくれなどの皮膚症状が強いときは、ガーゼなどで保護をして、医療機関を受診してください。

ドライアイスに触れる場合は厚手の手袋などを使って、直接手で触れないようにしてください。



## 2.二酸化炭素中毒

ドライアイスの成分は二酸化炭素で中毒性の高い成分です。

そのため、ドライアイスから発生する二酸化炭素を大量に吸い込んでしまうと、高濃度二酸化炭素で酸欠状態になり最悪死に至ります。

自動車の車内や、密閉した部屋など十分に換気ができない場所では、ドライアイス扱わないようにしましょう（自動車での運搬は窓を開けてください）。また、二酸化炭素は低い位置に溜まる性質があります。そのため、ドライアイスの煙が容器の底や床などに沈殿していた場合、そこにはあまり顔を近づけないようにしましょう。



# ドライアイスによる事故

## 3. 破裂事故

ドライアイスは空気中ですぐに気体化し、その体積が約750倍に膨張します。密閉した容器にドライアイスを入れてフタをすると、内圧が上がり圧力に耐えきれず容器自体が破裂します。遊び半分で、ペットボトルにドライアイスを入れて密閉してしまうのは絶対NGです！大けがにつながる恐れがあるので、ドライアイスはペットボトルや瓶に絶対に入れてはいけません。



※冷蔵庫やクーラーボックスは完全密閉された構造ではないため爆発の危険性は極めて少なくなります。

## 4. まとめ

- ドライアイスは直接接触らない
- 換気が不十分な場所では取り扱わない
- 密閉容器には絶対に入れない



# ドライアイスの取扱いについて

- ・ **ドライアイスは食品ではありません**

絶対に食べないでください。飲料にドライアイスを入れて炭酸水を作ることはできません。子どもの誤飲にも十分注意してください。

- ・ **凍傷に注意**

ドライアイスが直接皮膚に触れると凍傷が生じることがあります。取扱には手袋を使用してください。

- ・ **「間接的に」冷やす**

冷やすものに直接ドライアイス进行当てるのではなく、間接的に冷やすことをお勧めします。直接冷やしてしまうと、凍ってしまったり品質が劣化してしまいます。

※ -79℃のドライアイスの取扱いについて！ ※	
 <p>ドライアイスは、ペットボトルやビンなどの密閉又は密封された容器に入れないで下さい 破裂して危険です</p>	 <p>取扱いには必ず手袋をはめてください 素手で触れると凍傷になります</p>
 <p>運転手や乗客がいる車内に持ち込まないで下さい 中毒もしくは酸欠になり危険です 荷台等の換気を十分出来る場所に積んで下さい</p>	 <p>ドライアイスで遊んだり口に入れたりしないで下さい 子供の手の届かない所で保管して下さい</p>
 <p>地下室や換気の無い場所で貯蔵・取扱いをしないで下さい。 炭酸ガスは重いので床に溜まります 十分な換気の出来る場所でご使用ください</p>	 <p>ドライアイスは食品ではありません 絶対に食べないで下さい ソーダ水等の炭酸飲料は作れません</p>

【ドライアイスの廃棄方法】 ドライアイスはマイナス78℃の極低温物質です。廃棄は風通しの良い場所で自然に消滅させて下さい。

お問合せ先▼

株式会社ドライアイスサービス

電話番号：043-255-5640

<https://www.dryice-service.co.jp/>

